

～配送トラックの拘束時間の削減を実現～ 「ASN^{※1} データ」を利用したトラック単位^{※2}での 「検品レス」の取り組み推進について

キリングroupプロジスティクス株式会社（社長 山田 崇文）は、キリンビール商品およびキリンビバレッジ商品を配送するにあたり、2019年より「ASN データ」を利用したトラック単位での「検品レス」の取り組みを推進した結果、導入前と比較して、年間で配送トラックの拘束時間が最大 30% 削減されることが 2022年 2月にわかりました。今後は「ASN データ」の送受信で使用するシステムの改修を重ねることで、さらなる利便性の向上を目指します。

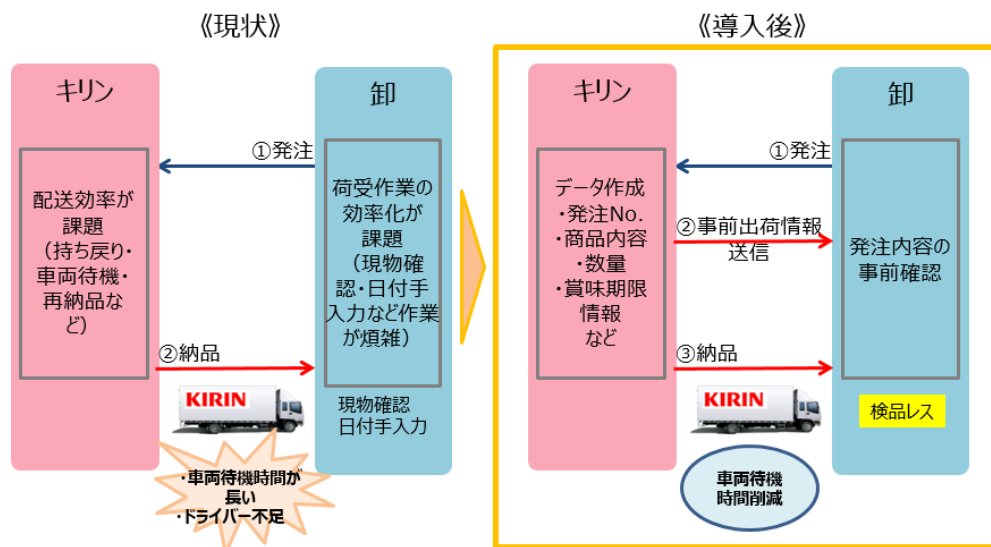
※1 Advanced Shipping Notice の略。事前出荷情報を指す。

※2 基本的にトラック単位での「ASN データ」の送信となるが、積載した製品の鮮度日付（製造・賞味期限）がトラック内で異なる場合は「ユニット単位」で「ASN データ」を送信する。

「検品レス」の取り組みでは、配送先からの注文内容を、「ASN データ」として出荷日や発注番号、出荷数量などの商品情報を配送トラック単位でまとめ、事前に配送先に提供することで、荷下ろしにおける検品を簡易化・効率化するものです。以前は配送先へトラックが到着してから荷下ろし・検品を行うことで配送した商品情報を確認していましたが、「ASN データ」を配送先に予め送信することで、配送先でも事前に配荷準備が進められ、トラックの待機時間が短縮されました。

当社は、2018年より三菱食品株式会社（社長 京谷 裕）と本取り組みを開始し、2021年からは日本酒類販売株式会社（社長 田中 正昭）とも開始したことで、東北・首都圏・九州エリアを中心に合計 15 件の配送先へ導入しました。今後はさらなる「検品レス」の導入拡大を目指して、導入現場の声を踏まえた「ASN データ」の送受信システムの改修を行うとともに、新規配送先との取り組みを目指します。「検品レス」を推進することで、配送トラックの待機時間削減や配送先の作業効率向上を図り、物流環境の改善に取り組めます。

【「ASN データ」を利用したトラック単位での「検品レス」取り組みのイメージ（導入前後比較）】



キリングroupプロジスティクス株式会社は、キリングroupで培った「キリン品質」で、お客様に「安全」・「安心」・「信頼」と「質の高いサービス」を提供するとともに、国土交通省・経済産業省・農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動を推進していくことで、持続可能な物流を実現していきます。

【本件お問い合わせ先】

キリングgroupプロジスティクス株式会社 本社物流管理部物流管理担当（担当：安楽・松井）
東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス Tel: 03-6837-7010